



公開講座レター

No.14



地域創造支援センターでは、公開講座の取り組みを広く知っていただくため、実施した公開講座の様子や参加者の声をお届けする「公開講座レター」を発行しています。今回は、共生システム理工学類の先生による公開講座「再生可能エネルギーを我が手に～技術を知るとやりたくなる！～」と、「再生可能エネルギーを我が手に～エネルギーの地産地消をめざして～」の様子をお届けします。

講座名 再生可能エネルギーを我が手に ～技術を知るとやりたくなる！～
開催日 10月26日（土）、11月2日（土）、9日（土）
14:00～16:00

会場 総合教育研究センター特別教室
講師

低炭素社会研究所所長/共生システム理工学類教授/

うつくしまふくしま未来支援センター地域エネルギー担当マネージャー 佐藤 理夫先生

共生システム理工学類教授 岡沼 信一先生、共生システム理工学類教授 島田 邦雄先生

共生システム理工学類教授 杉森 大助先生、共生システム理工学類准教授 浅田 隆志先生

共生システム理工学類特任教授 野毛 宏先生

講座の概要

再生可能エネルギーのメリット・デメリットを正しく理解し判断できるよう、様々なエネルギー技術について解説いただきました。受講生からは、一見難しそうな内容でも先生方の説明が分かりやすく、県内の他の地域でも開講してほしいという声が多くあがりました。

各回の内容

10/26 福島県の再生可能エネルギー概要（佐藤理夫先生）

電力システムについて（岡沼信一先生）

11/2 風力・水力について（島田邦雄先生）

太陽光発電について（野毛 宏先生）

11/9 バイオテクノロジーで作るエネルギー！（杉森大助先生）

木質バイオマスの活用について（浅田隆志先生）

参加者の声

- 一部難しいと感じた授業もありましたが、実験を見ることができたりと貴重なお話がきけました。
- 言葉だけ知っていても、仕組みが分からなかったことがあり、それらを学べて勉強になった。
- 震災以前は無関心だったエネルギーですが、原子力発電は万一の場合、人間が制御できないものになってしまうことが分かったので、今、講座を受講して、再生可能エネルギーがいかに重要なものになっていくのかが分かりました。

講座名

再生可能エネルギーを我が手に ～エネルギーの地産地消をめざして～

開催日

11月30日(土)、12月4日(水)、12月8日(日)
14:00～15:30 *12/4(水)のみ18:00～19:30

**会場
講師**

福島テルサ

低炭素社会研究所所長/共生システム理工学類教授/

うつくしまふくしま未来支援センター地域エネルギー担当マネージャー 佐藤 理夫先生

共生システム理工学類准教授 川崎 興太先生

うつくしまふくしま未来支援センター地域エネルギー担当特任研究員 大平 佳男先生

講座の概要

エネルギー事業が継続できる社会的・経済的な環境について解説いただきました。「再生可能エネルギーを我が手に ～技術を知るとやりたくなる!～」から引き続き受講する方が多く、2つの講座をとおして、再生可能エネルギーについてより理解が深まったようです。

各回の内容

11/30 福島県再生可能エネルギービジョンの紹介

廃棄物をエネルギーとして活かすシステム (佐藤理夫先生)

12/4 再生可能エネルギーと低炭素まちづくり (川崎興太先生)

12/8 再生可能エネルギーを普及させる社会制度 (大平佳男先生)

参加者の声

- ・今回と前回と再生可能エネルギーのお話をいろいろな角度からご説明いただき、なお自分なりに興味をもって世の中の動きをみていくきっかけにつながったと思います。
- ・佐藤先生の講義が分かりやすかった。自分たちが今できることはなにか、そのヒントになった。
川崎先生の講義は、都市構造の面からの省エネは興味深い。
大平先生の講義は、将来のエネルギーについて、経済学の立場からの話は大変面白く、役立つと思う。
- ・再生可能エネルギー全般について理解が深まりました。いただいた資料はかなり良いもので、自分の知識向上に大いに役立ちます。